

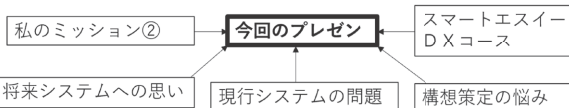
『匠Methodを用いて、自動車リサイクルシステムの将来構想を策定する』 結果報告

自動車リサイクル関係団体

栗田 聡

課題

自動車リサイクルシステムの将来構想の策定



DXコースで習得した技術を用いて策定(集大成)

手法・ツールの適用による解決

検討状況	GQM+S	匠Method	現在の状況
ビジョンが明確	Yes ○	○	○
ロードマップが明確	No	○	○
体制がある	Yes ○	○	○
スケジュールがある	No	○	○
目標と戦略が明確	Yes ○	○	○

当コースで学んだ構想策定ツール(GQM+S, 匠Method) 各々の選定基準と現在の推進状況を比較
→匠Methodを選定

検証ポイント

構想策定の悩み	検証ポイント
構想工程の成果物や完了条件が不明確	匠Methodにより明確になる
作りたいシステムのアイデアはあるが何故それが必要か？論理的に説明する手段が無い	匠Methodが有効な手段になる

匠Methodは構想工程における私の悩みを解決できるか？

モデル化(サンプル)

<ビジョン>世界のベストプラクティスになる自動車リサイクルのプラットフォームを構築する

<コンセプト>

- ・自動車リサイクルの浄化
- ・高度な資源循環の実現
- ・リサイクルの「三方よし」実現



愚直に、只々資源を循環させる！

<言葉>

公平・安全・透明性のある静脈ビジネスによこそ！

動脈:自動車生産 静脈:自動車解体

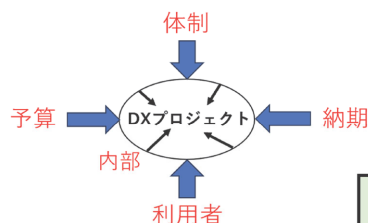
評価

【効果測定】

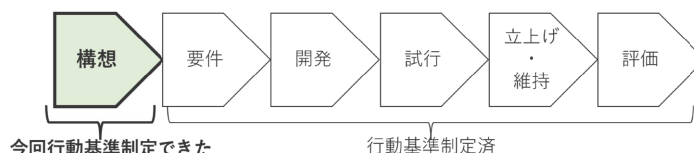
悩み	検証ポイント	測定結果	評価
構想工程の成果物や完了条件が不明確	匠Methodにより明確になる	5つの成果物+フロー(As is, To be)により、要件へ移行可と結論づけた	○
作りたいシステムのアイデアはあるが何故それが必要か？論理的に説明する手段が無い	匠Methodが有効な手段になる	ステークホルダー単位に価値(嬉しさ)・要求が明確化され、必要性を論理的に説明できた	○

構想工程における私の悩みを解決できた

【評価補足】



- ・現状、5つの脅威(予算・体制・納期・利用者・内部)と向き合いながらDXプロジェクトを推進
- ・推進において各工程の行動基準制定は必須
- ・匠Method='構想の行動基準'が制定できた



【DX推進にどう資するか】

○自分が「何をを目指すか？(現状と理想のギャップ)」

↓
'理想'=推進の原動力
(匠Methodは価値の具体化を支援する手段にすぎない)
○「匠Methodがあればいい構想ができる」は勘違い

↓
まず現状と理想のギャップを明確にすべき！

【今後の計画】

賛同する仲間作り～小さく作り検証しながら少しずつ前進！